

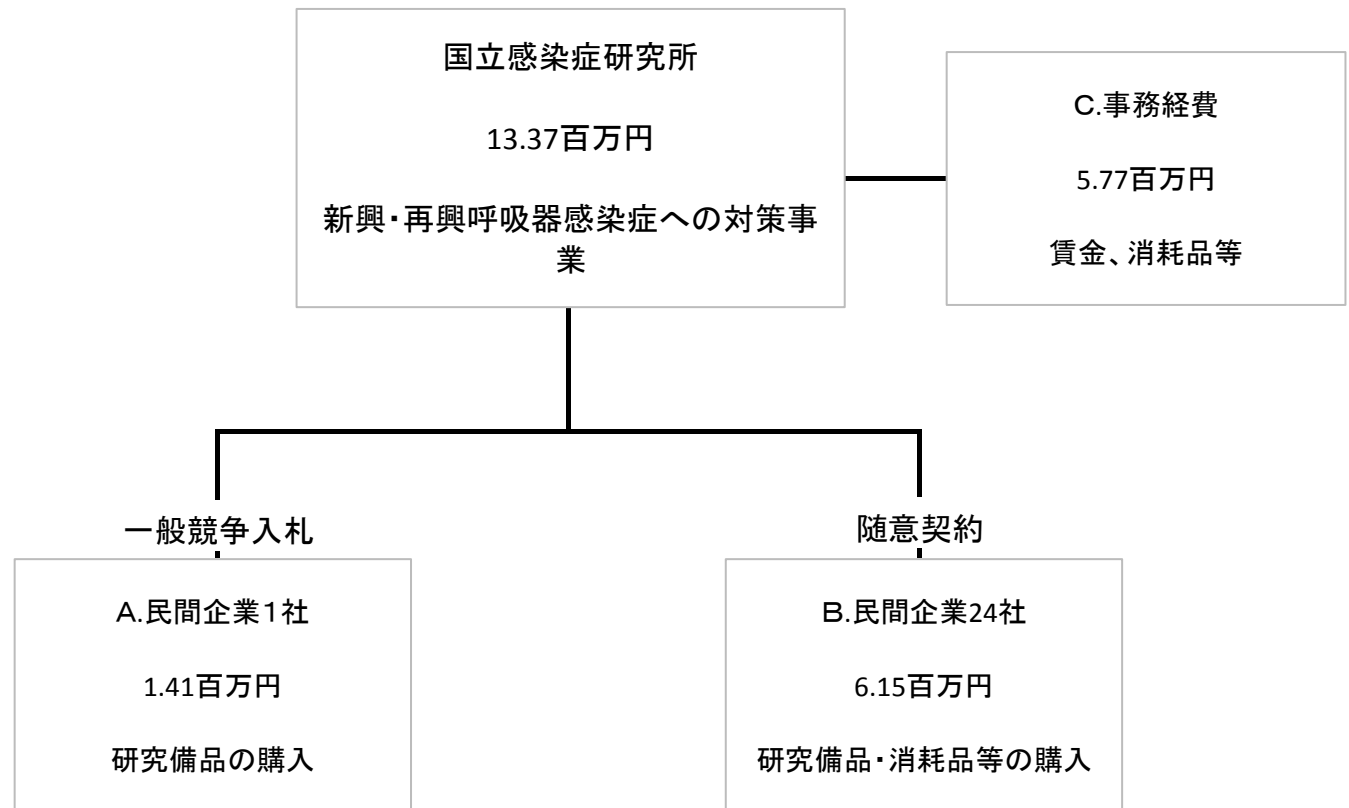
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	新興・再興呼吸器感染症への対策事業費		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	総務部会計課		金山 和弘	
会計区分	一般会計		政策・施策名	X I - 1 - 1 国立試験研究機関の適切かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	呼吸器は感染症の侵入門戸となりやすいため、新型の感染症は呼吸器感染症としてみられることが多い。国民の生命を脅かすような呼吸器感染症に常に対応できる体制を構築し維持する必要がある。多くの重篤な呼吸器感染症が既に出現しており、大流行となった場合に備えて、迅速診断法の開発や予防法や治療法開発を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	2000年以降に新たに発見された、あるいは、地域的アウトブレイクが顕在化した重篤な呼吸器感染症である、ガッティ型クリプトコックス、ヒトメタニューモウイルス、NL63ヒトコロナウイルス、ヒトボカウイルス等のウイルスによる呼吸器感染症を対象として以下を実施する。 (1)平成24年度までに迅速診断法を開発し、その有効性を平成25年度までに評価する。 (2)上記診断法を使用し、平成26年度までに発生動向を調査し、ワクチンや治療法開発の研究を開始する。 (3)平成27年までに地衛研等に上記診断法を普及させる。 (4)公衆衛生学的に問題が顕在化した呼吸器感染症が流行すれば、これを優先し、迅速に診断系を構築し地衛研に普及させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算		14	13	6	44
		繰越し等		-	-	-	
		計		14	13	6	44
	執行額		14	13			
執行率(%)			100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	定量的な指標の提示は困難であるが、成果目標としてH27年までにMERSコロナウイルス、ガッティ型クリプトコックスの簡易検査法開発を完了する。		成果実績	-	-	-	2種類の簡易検査法開発を完了。
			達成度	%	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	定量的な指標の提示は困難であるが、項目としてヒトメタニューモウイルス、ヒストプラスマの検出法を開発した。また、参照用病原体株3種類8株の整備と、1名の検査実施者の訓練を実施した。		活動実績 (当初見込み)	-	参照用病原体株の整備3種類8株	検査手法の確立 2件	-
					参照用病原体株の整備2種類6株	検査手法の確立 3件程度	検査法の開発 2件
単位当たりコスト	(円/ )		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	0	2	旅費、備品、消耗品、賃金の増  「新しい日本のための優先課題推進枠」38.591			
	備品費	0	14				
	消耗品費	4	20				
	通信運搬費	0	0				
	賃金	2	8				
	計	6	44				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	—	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	—	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	地衛研への試薬配布などにより、成果が活用できている。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	既に顕在化している新興・再興感染症の病原体について順次、調査、診断法構築を行っている。また24年度には、優先的に対応すべき公衆衛生上の問題として新型コロナウイルスの遺伝子解析、診断法構築を行い、地方衛生研究所に技術供与を行った。これらの研究に必要な備品、試薬等の調達については、会計法に基づき適切に行われている。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	本事業は、感染症対策の推進に係る試験研究の遂行に必要な経費であるが、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年		平成23年	新23-041	平成24年	887

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)チヨダサイエンス			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	研究用備品の購入	1			
計		1	計		0
B.(株)池田理化			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	研究用消耗品の購入	1			
計		1	計		0
C.非常勤職員A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	業務補助	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)チヨダサイエンス	研究用備品の購入	1.41	2	97.47
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)池田理化	研究用消耗品の購入	1.06	随意契約	—
2	岩井化学薬品(株)	研究用消耗品の購入	1.05	随意契約	—
3	(株)和科盛商会	備品修理	0.73	随意契約	—
4	株式会社ACTGen	抗体作成業務	0.52	随意契約	—
5	レノバサイエンス(株)	研究用消耗品の購入	0.52	随意契約	—
6	(株)バイオシス	研究用消耗品の購入	0.49	随意契約	—
7	理科研(株)	消耗品購入	0.36	随意契約	—
8	(株)チヨダサイエンス	人工遺伝子作成	0.3	随意契約	—
9	住商ファーマインターナショナル(株)	研究用試料の購入	0.19	随意契約	—
10	(株)竹宝商会	消耗品購入	0.19	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	業務補助	2.32	—	—
2	(株)和科盛商会	機器移設業務	0.98	随意契約	—
3	(株)池田理化	備品購入	0.71	随意契約	—
4	研究補助員A	業務補助	0.5	—	—
5	(株)竹宝商会	備品購入	0.44	随意契約	—
6	研究補助員B	業務補助	0.41	—	—
7	岩井化学薬品(株)	消耗品購入	0.3	随意契約	—
8	エプソンダイレクト(株)	備品購入	0.08	随意契約	—
9					
10					